

「頑張り」が伝統として受け継がれるように

～ 3年生による進路講話実施 ～



12月16日と21日の放課後、「3年生による進路講話」が行われました。これは、生徒の進路委員会が企画したもので、1、2年生を対象に、進路の決まった3年生から体験談などを話してもらうものです。12月16日は、柳月に内定した生徒と帯広高技専に合格した生徒、21日は北星学園大学、帯広コア専門学校に合格した生徒それぞれに講師をお願いしました。講師役の生徒たちは、緊張しながらも自分の体験談を上手にまとめて話してくれました。放課後の催しで、自由参加にも関わらず、多くの生徒が集まり、話を聞きに来た1、2年生は、真剣な眼差しで話を聞き、積極的に質問をしていました。

今回は、3年生が1、2年生に残せるものは何か、を生徒たちで考え企画しました。生徒主体でこのような行事が行われることに、生徒の成長を感じますし、良い伝統が受け継がれていけばいいと思います。



2月2日（木）11:50～、今度は教員主導の行事ですが、「先輩の体験談を聴く会」も実施されます。ご都合が合えば、地域の皆さんもぜひ、聞きに来てください。

講習通信

いよいよ、受験シーズン本番を迎えました。冬休み期間中もほぼ1日も休みなく、朝から夕方まで国公立大学等、一般受験を目指す生徒を中心に、進学講習が行われました。泣いても笑っても本番まであと少し。悔いを残すことなく、持てる力をすべて発揮して欲しいと思います。 頑張れ上高生！

お世話になった人々へ

～ 上高カフェ実施 ～



12月15日、生涯学習センターで、普段お世話になっている町の人たちをお持てなししようと、「上高カフェ」を行いました。生徒たちは、三国峠 cafe の武田ご夫妻からおいしいコーヒーの入れ方を教えていただき、何度も練習を重ね、カップケーキも焼いて、本番を迎えました。当日は緊張しながらも、接客したりコーヒーを入れたり頑張りました。「おいしい」、「また開いて欲しい」等と声もかけていただき、参加した生徒たちは、3年間の成果を遺憾なく発揮していました。お世話になった皆様、ありがとうございました。



地域の期待に応えるために

～ 寄贈式実施 ～

北海道銀行が企画した「地域応援債」提携第1号となる有限会社ドリームヒル様から、上士幌高校に教育に関する物品寄贈の申し出があり、12月22日、寄贈式が行われました。当日は、ドリームヒル代表取締役 小椋幸男様を始め、北海道銀行帯広支店執行役員支店長 齋藤勝様、音更支店長 中島英利様たちが来校され、小椋様より生徒会長小椋萌加さんに、目録が贈呈されました。生徒会長が「いただいたカラープリンターは、生徒会活動など、



様々な場面で使用させていただきます。」とお礼をのべて、寄贈式は終わりました。改めて、地域の方々の期待を感じ、その期待に応えるために、今後さらに頑張らなければ、と思いました。